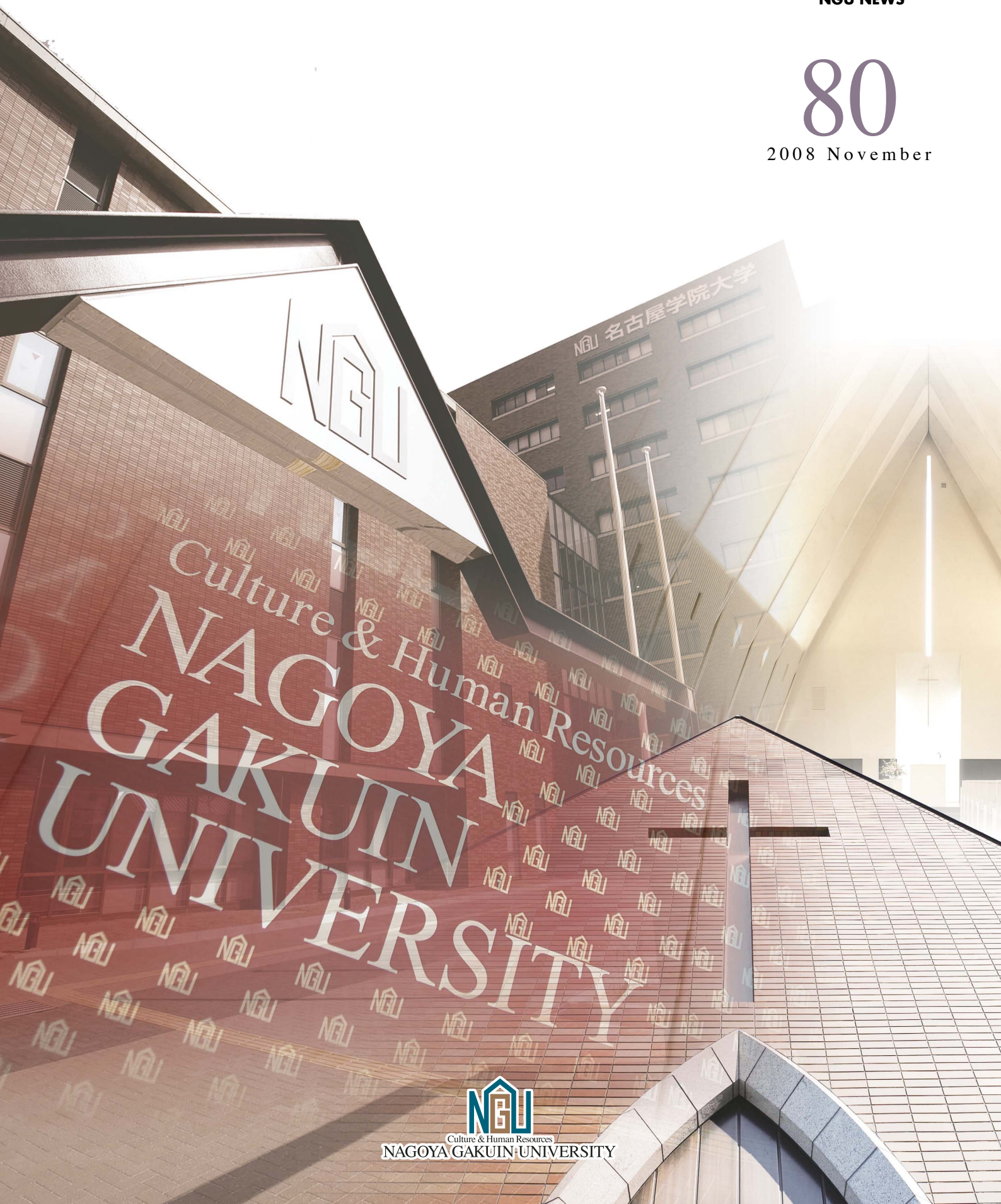


# COSMORAMA

NGU NEWS

# 80

2008 November



CONTENTS

Feature

- 1 第44回名学大祭開催

Interview

- 2 活躍するNGU生

長阪康子さん

Topics

- 4 商学部経営情報学科・  
大学院外国語学研究所  
国際文化協力専攻(修士課程) 誕生
- 5 就職状況報告  
求人総数は過去最高の95万人となり  
企業の採用活動はさらに早期化

Essay

- 6 シリーズ⑩エッセイ  
「宮の渡し」の昭和初期

笠井雅直

My lecture diary

- 7 私の講義日誌⑩

中野貴博

Campus Now

- 8 2008年度 父母懇談会を終えて  
2008年度学部長表彰式が  
執り行われました
- 9 2008年度 父母会総会開催
- 10 2007年度決算
- 11 学生アメニティ棟  
(新棟、クラブハウス棟)の建設
- 12 教育振興資金・名古屋キャンパス  
学生アメニティ棟建設資金  
募金の御礼とご報告

Information

- 13 文部科学省GP採択シンポジウム  
実施しました  
瀬戸キャンパス祭  
全日本大会出場!  
馬術部・日本拳法部・スキー部・  
空手道部  
本学学生情報誌「i-ris(アイリス)」創刊!  
行事予定  
(2008年11月~2009年3月)

COSMORAMA(コスモラマ)の由来

「宇宙」や「世界」を表わすCOSMOS(コスモス)とPANORAMA(パノラマ)との合成語。19世紀にロンドンの街角でしばしば行なわれた世界各地の様子をのぞきみせるショーの名称として使われたのが最初。世界の動きに興味を持ち、大きな視点に立ってそれを見渡すことができるようにとNGU NEWSの愛称に採用しました。



feature

# 第44回 名学大祭開催

♥ ごみ箱ゼロ エコ大学祭

エコ企画『ペットボトルキャップでワクチンをおくろう』

## 回収60万個突破!

名学大祭では、ステージ企画、地域のお子さま向け企画、ブース・模擬店企画など、さまざまな催しが満載。エコ企画では、昨年に引き続き『ごみ箱を設置しない大学祭』を実施しました。\*3Rを徹底、リユース食器を使用するなど、来場者にも自然にエコ活動に参加してもらえよう工夫しました。会場内のエコ活動にはEXPOエコマネーセンターよりEXPOエコマネーも発行されています。また、廃油発電機や廃油で動く廃油車の展示、空き



本学増田教授所有。廃油で動くエコカー。

11月1日(土)・2日(日)に第44回名学大祭を盛大に開催しました。  
今年の名学大祭のテーマは「WISH〜未来へ届け〜」。名学大祭をとってお出会う地域の人々や仲間、新たな自分が願いを叶え、未来に届ける力に少しでもなればという思いが込められています。

名学大祭では、ステージ企画、地域のお子さま向け企画、ブース・模擬店企画など、さまざまな催しが満載。エコ企画では、昨年に引き続き『ごみ箱を設置しない大学祭』を実施しました。\*3Rを徹底、リユース食器を使用するなど、来場者にも自然にエコ活動に参加してもらえよう工夫しました。会場内のエコ活動にはEXPOエコマネーセンターよりEXPOエコマネーも発行されています。また、廃油発電機や廃油で動く廃油車の展示、空き

<エコ企画『ペットボトルキャップでワクチンをおくろう!』>



担当者らはこれほどまでの反響にとまどいながらも、ご協力くださったみなさまに感謝の気持ちでいっぱいでした。



<ご協力くださったみなさま>  
写真中央は大磯通商店街の稲熊さん。

缶と竹に廃油を入れて作ったキャンドルを灯すキャンドルロードなどエコについて興味を持ってもらおうという試みもされました。

エコ企画のなかでも特筆すべきは、5月から始まった『ペットボトルキャップでワクチンをおくろう!』です。

これはペットボトルキャップを集めてリサイクルし、その売却益で世界の恵まれない子供達にワクチンをおくる活動で、キャップ800個で一つのワクチンを届けることができます。大学祭クラブのエコ企画担当を中心に、地道なキャップ回収・水洗い作業が続けられました。途中、メディアに取り上げられたこともあり、学生だけでなく一般のみなさまにも活動がじわじわと浸透し、集まったキャップはなんと**60万個**。

当初の回収目標8万個(ワクチン100人分)を大きく上回りました。

キャップ回収企画は終了しましたが、大学祭クラブでは今後もエコ活動を取り入れた大学祭を続けていく予定です。



空き缶と竹に廃油を入れて作ったキャンドルで彩られました。

名学大祭にご来場くださったみなさま、また活動にご協力くださったみなさま、ありがとうございます。



- ※3R ①Reduce (リデュース)・・・廃棄物の発生抑制  
②Reuse (リユース)・・・再使用  
③Recycle (リサイクル)・・・再資源化



<ご協力くださったみなさま>  
(写真上)南山中学校男子部川西先生と生徒のみなさん。その他たくさんの方々に応援していただきました。

ECO  
トピックス

学生運営のお店・カフェ&ベーカリー  
MilePost (マイルポスト)でも  
ECOポイント発行!

マイルポスト・ECOポイントカード

●このカードはマイルポスト店内でのみご利用いただけます。  
●ECOポイントの上限は100ポイントの発行となります。  
また、エコポイント及びEXPOエコマネーはポイントとして発行されず、  
●カードは発行された場合、その発行日より有効となります。

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

買い物袋持参やタンブラー利用、フェアトレード商品お買い上げなどでポイントをためて頂くと、オリジナルエコバッグやEXPOエコマネーを進呈※。MilePost (マイルポスト)では環境系のカフェイベントも開催しています。



※この取組は、愛知県の「“あいち発”エコマネー・リニモ沿線モデル事業」の一環であり、学生たちがEXPOエコマネーの普及に協力するとともに、自らのエコ活動を通じてEXPOエコマネーを蓄え、それをプルし発行原資としています。

マイルポストスタッフのみなさん、左から2番目が新店長の松枝美帆さん(経済学部3年)

# 活躍する NGU生

外国語学部の長阪康子さんにお話をうかがいました

## わたしのタイ留学

長阪さんは1年次に春休みを利用した1ヶ月の短期留学、3年次に約9ヶ月の長期留学を経験しました。留学先はいずれもタイのコンケン大学へタイ東北部コンケン県。  
留学経験を活かして、帰国後もさまざまな国際交流活動を精力的に行っています。

留学をしようと思ったきっかけは？

タイを留学先を選んだのはなぜですか。  
4歳から9歳までの幼少時代にタイで暮らしていたことが大きく影響しています。大学生生活4年間で何か1つのことをやり遂げたいという気持ちもあつて留学を決意しました。タイは私の第2の故郷だと思っています。

PROFILE  
ながさか やすこ  
長阪 康子さん  
外国語学部国際文化協力学科4年



タイの生活で驚いたことや興味深いことはありましたか。

タイでの生活は毎日がハッピーングだらけで、とても充実した留学生活を送ることができました。朝起きたら、気づかないうちに寮に住みついていた猫が隣に寝ていたり、

## Interview

全然知らないタイ人のジェントルマンがバス代を払ってくれたり：など。タイ人の人柄はまさに『微笑みの国・タイランド』。この微笑みを向けられると、仲間として受け入れられているという気持ちに自然となります。

タイの人々は毎朝どんなに寒くてもシャワーを浴びます。私の住んでいた寮は水シャワーだったので、タイ人の学生は毎朝寒いのを我慢して水シャワーを浴びていたのが印象に残っています。私はさすがに真似出来ませんでした。清潔好きでタイ人の習慣ですね。

留学で学んだことや一番の思い出は？

留学の一番の目的はタイ語の習得でした。毎日タイ人の学生にタイ語を教えてもらい、その代わりに私も日本語を教えるといった具合です。大学では、ほとんどスポーツの授業を履修しましたが、すべてタイ語で行われました。おかげでリスニング力がかなりアップしました。

タイ留学で得たもの：、それは『タイ語力』『かけがえない友達』『家族の大切さ』『自分に自信を持つこと』です。他にも得たものはたくさんありますが、ここでは語りつくせません。

留学後も海外留学生との交流など国際親善につながる活動をしてらっしゃいます。具体的な活動内容を教えてください。

帰国後に大学内でボランティアですがタイ語講座を開講しました。学生のみなさんがたくさん受けて下さり、本当に嬉しかったです！秋学期も引き続き開講します。レジュメ作成など大変ですが、みなさんが熱心に受けてくださるので頑張れます。

学外では今年8月に、ある大きな野球イベントでタイ語通訳のアルバイトを10日間しました。通訳は正確に伝えなければならぬ難しい仕事ですが、とてもやりがいがあり、よい経験になりました。

現在は留学生が住む国際セミナーハウスにRA(レジデント・アシスタント)として住んでいます。海外留学生の相談にのったり、おしゃべりしたり、毎日が国際交流でもとても楽しいです。先日は友人と習字教室を企画して、とても好評だったんですよ。



将来の目標は？

留学やタイ語講座での経験を活かして、タイ語教師になりたいです。まずは、タイ語力を今よりさらに上げることが大切です。日本人のタイ語教師の需要は少ないですが、チャンスは必ずあると思うので、日々努力しています。

これから留学を考えているみなさんにアドバイスをお願いします。

今の自分の視野を広げるために、どんどん冒険して下さい。短い大学生活を大いに利用して新しいことを発見して下さい。そして、留学で得たものをとことん活用して、成長へ繋げて下さい。

ありがとうございました。

バイタリティーあふれる長阪さん。これからもさらに力をつけて、活躍されることでしょう。



本学は経済・商・外国語・人間健康の4学部ならびに経済経営・外国語学の2研究科を擁し、常に社会のニーズに対応して教育研究内容の見直しを行っています。このたび、文部科学省への申請を完了し、2009年4月より、商学部経営情報学科ならびに大学院外国語学研究科国際文化協力専攻(修士課程)を開設する運びとなりました。

商学部経営情報学科は、企業環境の変化に適應できる人材を育成するため、情報ビジネスコミュニケーション学科の教育内容を継承し、さらにそれを発展させます。経営情報学科では、「情報コース」「国際ビジネスコース」の2コースを設置し、企業成長や仕事に實際に役立つ情報技術の活用、および企業業績の向上をもたらす国際ビジネスの実践を重視。これらの知識と技能を効果的かつ効率的に習得できるように実習形式の授業を展開します。また、情報関連資格取得に力を入れ、さらに国際ビジネスパーソンとしての素養の涵養に力を注ぎます。

大学院外国語学研究科国際文化協力専攻(修士課程)は、2005年4月開設の外国語学部国際文化協力学科を基礎とし、さらに高度な教育・研究を行うものです。本専攻は、国際文化のグローバル化、国際間の協力とそれらに付随して発生する異文化間の諸問題およびローカルな問題に対応すべく、高い識見や理解力をもつて日本国内・国外の国際的な文化活動や協力活動に従事できる人材を育成することを目的としています。必修科目として設定する『共通科目』とともに『国際文化協力領域』『国際文化領域』から院生個人の研究テーマや興味関心に沿って選択した専門科目を履修しながら、研究を行います。

商学部経営情報学科ならびに外国語学研究科国際文化協力専攻にご関心の皆さまは、下記までお問合せください。

## Topics

# 商学部経営情報学科・ 大学院外国語学研究科 国際文化協力専攻(修士課程) 誕生

お問合せ

入学センター TEL.052-678-4088 nyugaku@ngu.ac.jp

大学院事務室 TEL.052-678-4076 ngugsc@ngu.ac.jp

### 商学部 経営情報学科

#### 情報コース

仕事に役立つ情報処理に関する技術と知識の習得

経営オペレーション

情報化

#### 国際ビジネスコース

国際ビジネス・マネジメントの学習

国際ビジネス

グローバル化

#### 1年次

社会で役立つ一般教養と専門基礎を学ぶ。  
(商学総論、経営学総論、経済学)

#### 2・3年次 専門分野を学ぶ。

基礎専門演習、専門演習による事例研究、専門科目としての経営管理論、マーケティング、経営戦略論、コンピュータ会計、意思決定論、人的資源管理論、財務管理論、労使関係論、経営組織論、国際関係論、ビジネス英語、...

#### 4年次

4年間の学びの集大成。「卒業論文」に取り組む。(専門演習)

将来は

ITに強い  
ビジネスパーソン  
国際派  
ビジネスパーソン  
を育成

情報系新資格試験制度に対応した専門演習開設

2009年スタート

- ITパスポート試験
- 基本情報技術者試験
- ITストラテジスト試験

### 外国語学研究科 国際文化協力専攻

#### 国際文化協力領域

- 現在の国際関係を理解する
- 文化協力のあり方を考察する
- NGO・NPOの意義を考察する
- 欧米の文化を理解し、日本文化との相違点を探求する
- 日本とアジア諸国の関係を考察する

#### 国際文化領域

- 各国に生じる紛争の要因と解決へのアプローチ方法を探る
- 多文化の共生方法を考察する
- 日本と他のアジア諸国の文化関係を考察する
- ジェンダーを考察する

#### 共通科目

国際社会  
地域社会に  
貢献

- 異文化間でのコミュニケーションについて理解を深める。
- 宗教、思想や文化のあり方について考察する。

# 求人総数は過去最高の95万人となり

## 企業の採用活動はさらに早期化

### 2008年度就職戦線の特徴

2008年度の就職環境は、昨年と同様に団塊世代の大量退職の影響で求人数が増え、学生有利の状況が続きました。

リクルートワークス社の調査によると、2009年3月卒業予定の大学生・大学院生を対象とする求人総数は昨年より1.5万人増の94.8万人となり、調査開始以来過去最高の数字を示しました。これに対して大卒等の就職希望者数は44.3万人(0.7万人増)で、求人倍率は昨年同水準の2.14倍となりました。

ただし、この求人倍率を従業員規模別で比較すると、従業員1000人未満企業の求人倍率が4.26倍に対して、1000人以上企業の求人倍率は0.77倍と規模間で求人倍率の差が拡大し、学生の大手企業に対する志向が高くなっています。また、業種別では金融業0.35倍、サービス・情報業0.75倍、製造業2.64倍、流通業7.15倍と異なり、業種間の求人倍率の差もさらに拡大しています。このように、採用数は増加

して求人倍率は高くなっていますが、大手企業や学生に人気の高い業界は依然として厳しい状況にあります。

また、求人総数が増えることで企業の早期化に拍車がかかり、3月以前に選考を開始して内々定をだした企業が昨年以上に増加傾向にあります。そして、5月末で大手・主要企業は採用活動を終了し、景気のかげりが影響してか、6月からの求人数が少なくなつたのも今年の特徴です。円高・株安・原油高・アメリカの金融不安などで景気が悪化して、次年度の就職環境は厳しくなることが予測されます。

### 本学学生の状況

2008年3月卒業生の就職決定率は98.6%の高い数字を挙げました。今年の4年生についても9月末現在で、就職希望者の約60%から内定報告があり、好調の前年度を上回るペースで就職が決まっています。

現在までの主な内定先は左記の通りで、トヨタ自動車、三菱東京UFJ銀行、みずほフィナンシャルグループ

### 2008年度就職内定企業状況 (9月30日現在)

【建設業】(株)熊谷組、(株)鹿島道路、(株)トエネック、(株)サンヨーハウジング名古屋、東日本ハウス(株)、富士ハウス(株)、タマホーム(株)

【製造業】トヨタ自動車(株)、トヨタ紡織(株)、フタバ産業(株)、本田技研工業(株)、アイシン・エイ・ダブリュ(株)、大同メタル工業(株)、(株)東芝テック、オーエスジー(株)、CKD(株)、ヤマザキマザック(株)、矢崎総業(株)、(株)青山製作所、(株)鶴鈴、日本研紙(株)、河村電器産業(株)、SUNX(株)、(株)丸順、フジパルグループ本社(株)、敷島製パン(株)、トリンプ・インターナショナル・ジャパン(株)、ダイナパック(株)、(株)プロトコーポレーション、菊水化学工業(株)、コタ(株)、大正製薬(株)

【卸売業】日通商事(株)、(株)ラグラックス信和、(株)三陽商会、東海食品(株)、(株)昭和、(株)スズケン、中北薬品(株)、山宗(株)、阪和興業(株)、三立興産(株)、杉本商事(株)、ダイドー(株)、(株)日伝、(株)NalTO、(株)前田製作所、高津伝導精機(株)、(株)八神製作所、(株)日立エイチ・ピー・エム、(株)オータケ、(株)オークローンマーケティング

【小売業】イオンリテール(株)、(株)サークルKサンクス、(株)東急ストア、(株)パロー、(株)ヤマナカ、(株)ヨシヅヤ、(株)ファミリーマート、(株)ジャパンビバレッジ、愛知トヨタ自動車(株)、(株)コトリ、(株)カインズ、(株)エイデン、(株)ギガス、上新電機(株)、(株)ドン・キホーテ、(株)大創産業

【金融業】(株)みずほフィナンシャルグループ、(株)三菱東京UFJ銀行、(株)名古屋銀行、(株)中京銀行、(株)静岡銀行、愛知信用金庫、岡崎信用金庫、掛川信用金庫、蒲郡信用金庫、瀬戸信用金庫、高山信用金庫、中日信用金庫、知多信用金庫、東春信用金庫、東濃信用金庫、豊川信用金庫、西尾信用金庫、浜松信用金庫、半田信用金庫、北陸信用金庫、飯田信用金庫、あいち中央農業協同組合、愛知西農業協同組合、ぎふ農業協同組合、尾張中央農業協同組合、鈴鹿農業協同組合、あいち尾東農業協同組合、陶都信用農業協同組合、あいち知多農業協同組合、なごや農業協同組合、あいち海部農業協同組合、とびあ浜松農業協同組合、多気郡農業協同組合、上伊那農業協同組合、東海東京証券(株)、新光証券(株)、藍澤証券(株)、東洋証券(株)

【不動産業】(株)レオパレス21、住友不動産販売(株)、(株)エイブル

【運輸・通信業】伊勢湾海運(株)、(株)フジトランスコーポレーション、旭タンカー(株)、トランコム(株)、山九(株)、西濃運輸(株)、佐川急便(株)、(株)ハマキョウレックス、東京急行電鉄(株)、名古屋鉄道(株)、日本通運(株)、西日本旅客鉄道(株)、郵便局(株)、郵便事業(株)、ソフトバンクモバイル(株)

【サービス業】富士ソフト(株)、トランス・コスモス(株)、(株)富士通中部システムズ、(株)エイチ・アイ・エス、日旅サービス(株)、(株)ジェイアール東海ホテルズ、キムラユニティー(株)、総合警備保障(株)

【公務員】警察官(愛知県、三重県、静岡県)、消防官(浜松市)、自衛隊

## Recruit

など難関企業にも内定者がでており、前年度以上の好結果をあげています。

全般的には、志望順位の高い企業から内定を得た学生が多く、昨年よりさらに内定先に対する満足度は上がっていると思われます。その反面、「売り手市場」と言われるための安心感から、就職活動のスタートが遅れている学生や単位を多く残して就職活動のできない学生もいます。就職が早く決まる学生となかなか決まらない学生との二極化現象は依然として続いています。

### 学生時代を有意義に過ごして自己実現を

現代の企業が求めているのは学力や専門知識だけではなく、移り変わりが激しい社会の中で環境の変化に対応ができ、自分で判断して行動できる自律型の人間です。この自律とは自己管理ができ、自らが問題を発見して解決策を導いていけることです。そして、幅広い年代の人とのコミュニケーション能力や、説得力のある論理的な考え方ができる人間が求められています。

しかし、それは就職活動の時期になって突然できるものではありません。大多数の学生は、大学時代が社会へ巣立つ最終段階になります。将来の自分を見据えながら学生生活での目標を持ち、達成するための努力を惜しまない有意義な学生生活を送ることがキャリアアップ形成につながり、自己実現への大きなステップとなるでしょう。

Essay<sup>30</sup>

# 「宮の渡し」の 昭和初期

経済学部教授  
かさい まさなお  
笠井雅直



近年、私が携わってきた「愛知県史」などの編纂作業の中から、本学名古屋キャンパス白鳥学舎周辺の事柄を「題」取り上げたい。写真をご覧いただきたい。堀川と新堀川が合流する地点のものである。運行中の、あるいは係留された艇の数が多い。かつて、ここは、「七里の渡し」「宮の渡し」として、東海道の海上ルートの結節点として交通の要衝となっていた。要衝ということとちよつと厳めしいが、むしろ、熱田神宮など、東海道沿線の神社仏閣に参拝する旅行者が集まってくる足だまりであった。宮宿の渡し場の対岸は、ほどなく埋め立てられて、昭和初期には、日本有数の航空機のメッカとなっていた。「熱田湊」「白鳥湊」と言われた場所は、いつの

まにか、名古屋港までの運河となつてしまった。以下、その経緯を辿つてみよう。江戸期を通じて「宮の渡し」の沖合は、次々と新田開発のために埋め立てられていく。明治に入って貿易が盛んになると、遠浅であった熱田海岸ではなく、四日市港が重宝されることに対して、愛知県・名古屋当局は、熱田湾築港を推進する。明治36年以降、埋め立てが本格化し、新しい港は、明治39年には、海軍の水雷艇や英国駆逐艦が入港できるまでになる。その結果、新しい港の名称は、熱田港から名古屋港へと改められ、本格的な貿易港となつたのである（明



昭和初期の堀川。写真下部は愛知時計電機株式会社本社工場。

治40年）。名古屋港の出現は、名古屋の物流網として、堀川に加えて新堀川の開削を推進せしめた。その後、大正末には、物流網の拡充のために更に中川運河の開削を具体化させる。写真の大きな工場は、昭和初期の愛知時計電機船方工場である。当時の船方工場本社工場は従業員数千人以上の海軍向け飛行機生産の巨大工場であった。初期の飛行機生産が木材産業に依拠していたころであり、堀川は市内物流の幹線であった。中川運河の完成は、堀川と新堀川の合流地点の風景を一変させたものと考えられる。貯木場としての、その後の機能が残った。

本学名古屋キャンパス周辺は、このように歴史の深い事柄に満ちています。是非みなさんにも、周辺の散策をおすすめしたい。



## 七里の渡し舟着場跡

江戸時代、東海道の宿駅であった熱田は「宮」とも呼ばれ、発名までの海路「七里の渡し」の舟着場としても栄えていた。寛永2年（1625）に建てられた常夜灯は航行する舟の買取り目録であったが、現在は復元されて往時の名残りをとどめている。安藤広重による「東海道五十三次」の中にも、宮の舟着場風情が描かれており、当時の舟の乗客の様子を知ることが出来る。

名古屋市



## 私の講義日誌



人間健康学部講師

なかの たかひろ

中野 貴博

vol.19

### 私の講義方針

私が現在担当している講義科目は「測定評価」、「健康運動教育論」、「保健統計」の3つです。他に演習科目と実技科目を担当しています。今回はこの中でも講義科目と演習科目における私の授業方針をご紹介します。

最初に「測定評価」ですが、この科目では講義と実習を半々で行います。講義では測ることの大切さ、データの重要性について丁寧に説明しています。実習では簡易な形態測定と体力測定を行い、測定データを分析してまとめるところまでを一貫

して指導しています。学生達には、測定をする側の立場を理解すること、丁寧なデータ分析により結果を読むことの重要性を伝えています。「健康運動教育論」と「保健統計」は講義が中心です。社会の健康問題を理解し、改善に取り組むために欠かすことができないのが様々な統計データを読むことです。学生達には馴染みの薄い体験のようなですが、今後、社会の健康増進に貢献できる人材となるためにも是非、健康や体力に関する統計に目を通し、理解できる力を身につけてほしいと切に願っています。

3つの講義の共通テーマはデータを扱うことの

大切さです。我々、健康科学の領域では机上の空論では説得力ありませんし、健康行動改善には貢献できません。必ずデータを取ることで、データを用いて客観的に評価し、教育や指導に活かすことが大切であると常々、授業内で話しております。そのために難しいデータ分析にも取り組んでもらっています。

演習科目でも私が大切にしている方針が1つあります。これは現場主義の教育です。本学科の学生の多くは研究者になるのではなく、現場第一の職業に向かいます。ですから、様々な測定や調査の機会には必ずゼミ学生を連れて行き、少しでも多くの指導や測定現場を経験させることを心がけています。学生は机の上よりも現場の方が楽しいと喜んで参加してくれています。

最後になりますが、現代の情報化社会においてはやはりデータという貴重な情報発信、そして論より証拠、徹底した現場主義こそが本学科の学生には必要であると私は考えています。





## 2008年度 父母懇談会を終えて

今年度の父母懇談会は、大学会場（名古屋キャンパス）と瀬戸キャンパス（および地方会場4ヶ所（金沢、岐阜、四日市、浜松））を設けて開催しました。

今年度は瀬戸キャンパスにおいては、父母懇談会、瀬戸キャンパス祭およびオープンキャンパスと同日に開催し、全会場を合計して700名と多数の参加がありました。

今回の父母懇談会では、文部科学省の優れた大学教育システムに対する支援制度に本学のプログラムが採択されたことや就職活動などの近況を中心に報告させていただきました。

個人面談や成績・就職などのブースではお子様の学修状況や将来の進路といった相談が寄せられました。

また、大学会場においては名古屋キャンパスや瀬戸キャンパスの教育施設を見学される姿も見られました。

次年度もたくさんのご参加をお待ちしております。

### 会場別参加状況

9月6日(土)	
岐阜会場	47名
金沢会場	36名
9月13日(土)	
四日市会場	25名
浜松会場	51名
9月20日(土)	
大学会場(名古屋)	465名
9月27日(土)	
大学会場(瀬戸)	76名
合計	700名

## 2008年度学部長表彰式が執り行われました

〈学業成績優秀者100名を表彰〉

本学には学業・スポーツ・文化・社会活動などを通じて顕著な成果をあげた学生を表彰する制度がありますが、このうち昨年一年間の学業成績優秀者を表彰する「学部長表彰」が2008年6月18日(水)に執り行われました。(その他、年間の課外活動実績を表彰する「学生部長表彰」と4年間の正課および課外活動実績を表彰する「学長表彰」があります。)

今年度は名古屋キャンパスで学ぶ経済学部・商学部・外国語学部の学生と瀬戸キャンパスで

学ぶ人間健康学部の学生がそれぞれの所属キャンパスのチャペルにおいて、表彰を受けました。表彰者へは各学部長から祝辞、表彰状と学業奨励金が授与されました。今後も学生の本人である学業を中心に充実した学生生活を送られますよう期待しています。今年度の表彰者は左記のとおりです(五十音順)。



### 経済学部

#### 4年生

荒川 貴夫 安藤 優佳 加藤 勝三 國枝 俊希 高田 悠馬 服部 未希 水上 唯貴  
水野 仁士 森 大祐 鎌原 利恵 清水 清太 中島 寛幸 平井 洋司 古田 寿夫

#### 3年生

大島 毅士 川口 達也 瀧瀬 亮次 小松 奏子 佐藤 文香 須田 恭平 新田 英樹  
松枝 美帆 水上佳名子 梅村 泰貴 鬼頭 亜弓 城者 山本 真裕

#### 2年生

岩瀬 綾子 太田 宏平 加藤 浩司 鈴木 淳也 宗宮 直之 角川 博喜 長谷川将徳  
山澤 亮平 浅井 良友 江口 英里 東塾 孝俊 文元 高泰

### 商学部

#### 4年生

天野 晃司 佐藤 圭祐 柴田 晋平 山内雄太郎 前田 剛志 遠藤 真法 久野 和士  
熊谷 学 小林 栄

#### 3年生

門野 泰旭 高井 啓太 早川 友祥 松山 草太 山本 紗織 宇佐見知里 鬼頭 佑輔  
久保田 巴 渡邊麻理乃

#### 2年生

高橋 亮 谷口枝里花 中井 勝之 永坂 俊人 安田 佳代 河原 永和 榊原ひろ子  
濱島 翠 前園 唯

### 外国語学部

#### 4年生

河合 匠 佐藤 友美 寄田 一導 桜井 訓子 柏木 豊美 清岡 春菜

#### 3年生

石井 智 大川 有左 大宮 早 小沢 知世 尾畑 弘美 寺嶋 徳子 高橋 記子  
中山浩一郎

#### 2年生

石黒 志奈 伊藤 亜衣 壁谷実沙紀 佐伯 直保 平川 桐子 湯川真里菜 塩浜 功平  
名越 千紗

### 人間健康学部 ※設置後3年のため4年生はいません。

#### 3年生

井出 輝美 平野 里紗 佐藤 雅人 木村 真波 久保田 徹 柴田 悠登

#### 2年生

板谷由佳里 出島 慶一 三輪 桃子 村越 真帆 酒向 敦裕 佐藤 正隆  
以上、100名。



学校法人名古屋学院大学の2007年度決算および2007年度事業報告は、2008年5月28日に理事会で承認されましたので概要をお知らせいたします。

なお、2007年度事業報告および2007年度計算書類は、本学ホームページに掲載しておりますので、ご参照ください。

学校法人会計は、経営の状況を見る「消費収支計算書」、資金繰りの状況を見る「資金収支計算書」および、財政の状況を見る「貸借対照表」により表示されています。この3つの計算書は相互に密接な関係があり、経営状態の良し悪しは、消費収支が均衡状態（消費収入≧消費支出）であるか否かが一つの判断基準になります。また、収入≧支出であれば資金繰りに窮することはないこととなり、それら経営状態の結果は財政の状態を表す貸借対照表上の財務比率や正味財産に影響を与えることとなります。

2007年度は、名古屋キャンパスの開設初年度であり、ダブルキャンパスが本格稼働となりました。学生数は新入生1,495名（学部1,416名、大学院79名）を迎え、期首学生総数は4,743名（学部4,556名、大学院187名）で前年度比417名の増加となりました。キャンパス環境充実のため、名古屋キャンパスでは屋外喫煙所、瀬戸キャンパスでは第一グラウンド・野球場の整備改修を行いました。

### ◆資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入、支出の内容、及び支払資金の動きを明らかにしています。

資金収支の決算規模は121億7,319万円となりました。収入の部は、学生納付金収入1億

1,454万円増、補助金収入7,397万円増、資産運用収入1億3,495万円増、支出の部では、人件費3,979万円減、物件費1億1,817万円の減となりました。この結果、次年度繰越支払資金は37億1,637万円となりました。

### ◆消費収支計算書

消費収支計算書は、消費収入の部合計額（帰属収入合計－基本金組入額合計）から当該年度に消費する消費支出の部合計額を比べて、消費収支差額を算出する構造になっています。これにより当年度の収支の均衡や経営状態の健全さを判断することができます。

減少傾向にあった帰属収入は'05年度以降回復し、'07年度は前年度比では7億3,373万円の大幅な増収となりました。主な要因は、人間健康学部の学年進行等に伴う学生納付金増、各種GP選定に伴う補助金増、その他資産運用等による増収によります。'07年度は基本金に4億8,253万円を組入れ、収支差額が3億1,765万円の収入超過となりました。

### ◆貸借対照表

貸借対照表は、期末における大学の資産額とその状況〔負債、基本金（自己資金より調達した額）及び消費収支差額からなること〕を表すものです。

資産の部合計は240億6,781万円で前年度末比4億6,451万円増加しています。負債の部合計は37億8,091万円で前年度末比3億3,566万円減額しています。基本金の部合計は、226億1,439万円で、前年度末比4億8,253万円増加しています。

こうした結果、本法人の'07年度末正味財産（資産の部合計－負債の部合計）は、202億8,689万円で、前年度比8億17万円の増加となりました。

## 2007（平成19）年度 決算総括表

### ●資金収支計算書

収入の部		'07年度決算額
学生納付金収入		4,995,399
手数料収入		108,109
寄付金収入		50,163
補助金収入		574,116
資産運用収入		199,998
資産売却収入		2,214,212
事業収入		20,945
雑収入		34,552
借入金等収入		0
前受金収入		1,131,513
その他の収入		151,923
資金収入調整勘定		△ 1,202,932
前年度繰越支払資金		3,895,189
収入の部合計		12,173,187
支出の部		'07年度決算額
人件費支出		2,833,703
教育研究経費支出		1,413,858
管理経費支出		340,500
借入金等利息支出		27,220
借入金等返済支出		146,000
施設関係支出		220,788
設備関係支出		91,719
資産運用支出		3,159,091
その他の支出		449,649
予備費支出		0
資金支出調整勘定		△ 225,712
次年度繰越支払資金		3,716,370
支出の部合計		12,173,186

### ●消費収支計算書

消費収入の部		'07年度決算額
学生納付金		4,995,399
手数料		108,109
寄付金		54,225
補助金		574,116
資産運用収入		199,998
資産売却差額		4,741
事業収入		20,945
雑収入		36,003
帰属収入合計		5,993,536
基本金組入額合計		△ 482,525
消費収入の部合計		5,511,011
消費支出の部		'07年度決算額
人件費（内退職給与引当額）		2,821,178
教育研究経費（内減価償却額）		1,968,763
管理経費（内減価償却額）		554,905
借入金等利息		32,138
借入金等返済		27,220
資産処分差額		3,566
予備費		0
消費支出の部合計		5,193,365
当年度消費支出超過額		317,646
前年度繰越消費支出超過額		△ 2,645,147
翌年度繰越消費支出超過額		△ 2,327,501
帰属収支差額		800,171

### ●貸借対照表

科目	資産の部		
	本年度末	前年度末	増減
固定資産	20,318,682	19,611,318	707,364
土地	3,604,693	3,604,693	0
建物	9,932,425	10,244,444	△ 312,019
構築物	661,888	574,759	87,129
機器備品	594,480	663,880	△ 69,400
図書	2,063,795	2,039,370	24,425
車両	1,888	2,746	△ 858
建設仮勘定	0	0	0
その他の固定資産	3,459,513	2,481,426	978,087
流動資産	3,749,123	3,991,977	△ 242,854
現金	3,716,370	3,895,189	△ 178,819
その他の流動資産	32,753	96,788	△ 64,035
資産の部合計	24,067,806	23,603,295	464,511
負債の部			
固定負債	2,229,471	2,533,995	△ 304,524
長期借入金	1,131,500	1,423,500	△ 292,000
学校債	0	0	0
退職給与引当金	1,097,971	1,110,495	△ 12,524
流動負債	1,551,442	1,582,578	△ 31,136
短期借入金	146,000	0	146,000
未払金	203,398	319,164	△ 115,766
その他の流動負債	1,202,044	1,263,414	△ 61,370
負債の部合計	3,780,913	4,116,573	△ 335,660
基本金の部			
基本金	22,614,394	22,131,869	482,525
基本金の部合計	22,614,394	22,131,869	482,525
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費支出超過額	△ 2,327,501	△ 2,645,147	317,646
消費収支差額の部合計	△ 2,327,501	△ 2,645,147	317,646
負債の部・基本金の部及び消費収支差額の部合計	24,067,806	23,603,295	464,511

## 2007年度決算財務比率

### ●消費収支計算書関係 財務比率推移

No.	比率名	算式	'02年度	'03年度	'04年度	'05年度	'06年度	'07年度	高低評価	私大平均	財務比率の意味
1	学生納付金比率	学生納付金 / 帰属収入	86.5	85.2	85.6	81.3	83.5	83.3	～	72.6	学生納付金は帰属収入のなかで最大の比重を占めるものであり、各学校法人の自力財源の確保という意味では、高水準で安定的に推移するのが好ましい。
2	基本金組入率	基本金組入額 / 帰属収入	5.7	5.2	25.8	28.6	33.8	8.1	△	15.9	大学の諸活動に不可欠な資産充実のためには、基本金組入額が大きく、またこの比率が高いことが望ましい。自己資金充実のためには、この比率が高いほど好ましい。
3	人件費比率	人件費 / 帰属収入	57.0	54.4	52.4	51.7	53.0	47.1	▼	51.3	人件費は消費支出のうち最大の部分を占めており、この比重が高いと消費支出全体を膨張させ、支出超過を招く場合もある。低いほど好ましい。
4	教育研究経費比率	教育研究経費 / 帰属収入	28.2	27.0	29.2	27.8	31.0	32.8	△	28.5	教育研究経費の帰属収入に対する割合である。教育研究活動の維持・発展のためには、消費収支を圧迫しない限り、この比率は高いほど好ましい。
5	管理経費比率	管理経費 / 帰属収入	6.6	7.4	7.6	8.5	7.9	6.2	▼	8.5	管理経費は教育研究活動に支出された以外の経費である。学校法人の運営のため、ある程度の比率は必要だが、低いほど好ましい。

### ●貸借対照表関係 財務比率推移

No.	比率名	算式	'02年度	'03年度	'04年度	'05年度	'06年度	'07年度	高低評価	私大平均	財務比率の意味
1	固定資産構成比率	固定資産 / 総資産	80.7	80.7	79.3	76.3	83.1	84.4	▼	85.2	有形固定資産とその他の固定資産を合計した固定資産の総資産に占める構成割合である。この比率は流動資産構成比率とともに、資産構成のバランスを全体的に見るための指標となる。資産構成の割合は、各学校法人毎に多様であるため、固定資産の内訳科目毎に分析する必要がある。低い値が良い。
2	固定負債構成比率	固定負債 / 総負債	6.2	6.1	5.5	5.3	10.1	9.3	▼	7.8	負債構成のバランス及びそれぞれの比重を評価する指標。固定負債の内容は、長期借入金、学校債、退職給与引当金等であり、長期に亘って償還又は支払いを要する債務である。高い値は好ましくない。
3	自己資金構成比率	自己資金 / 総資産	87.1	87.6	88.1	88.1	82.6	84.3	△	86.4	基本金と消費収支差額を合計した自己資金の総資産に占める構成割合である。この比率は、高いほど財政的に安定しており、50%を割ると他人資金が自己資金を上回っていることを示している。高い値が良い。
4	固定比率	固定資産 / 自己資金	92.7	92.2	90.0	86.7	100.6	100.2	▼	98.7	固定資産がどの程度自己資金で賄われているかを判定する指標。100%未満であれば、固定資産は自己資金で賄われており望ましいが、100%以上であれば他人資金にも依存していることを示す。低い値が良い。
5	負債比率	総負債 / 自己資金	14.8	14.2	13.5	13.6	21.1	18.6	▼	15.8	他人資金である負債総額が自己資金を上回っていないかどうかを見る指標で、100%以下で、低い値ほど望ましい。
6	流動比率	流動資産 / 流動負債	287.0	303.1	322.8	354.1	230.9	241.7	△	253.0	短期的に支払を迫られる流動負債に対し、現金預金又は短期的に現金化するにできる資産の割合がどの程度かという資産流動性、即ち支払能力を判定する指標。150%～200%以上が望ましい。
7	総負債比率	総負債 / 総資産	12.9	12.4	11.9	11.9	17.4	15.7	▼	13.6	総資産に対する他人資金の比重を評価する関係比率である。この比率は低いほど良く、50%を超えるると負債総額が自己資金を上回ることになり、さらに100%を超えるると負債総額が資金総額を上回る状態、いわゆる債務超過となる。

(注) 1.私大平均は、日本私立学校振興・共済事業団「平成19年度版5月の私学財政」の大学法人（医療系法人を除く）の平均値 2.高低評価も同資料による △高い値が良い ▼低い値が良い 3.総資産＝負債＋基本金＋消費収支差額 4.自己資金＝基本金＋消費収支差額

### ◆財務情報の公開について

2007年度決算関係書類（財産目録・貸借対照表・収支計算書・監事及び独立監査法人による監査報告書・事業報告書）及び2008年度予算書類・事業計画書は、財務課にて縦覧できます。

# 学生アメニティ棟

# (新棟、クラブハウス棟)の建設



白鳥学舎新棟

名古屋キャンパスがスタートして1年半がたちましたが、大学創立45周年記念事業の一環として、白鳥学舎の教育・学生生活環境をより充実するために、学生アメニティ・教育研究施設の建設を次の通り計画しました。来年2月に着工し、2010年春には緑の木々に包まれた新棟が曙館の南側に完成の予定です。



クラブハウス棟

## 新棟・クラブハウス棟建設概要

### 〔新棟〕

- 地上5階建 延床面積 約5,100㎡
- 1階 学生ラウンジ、テラス、コンビニ、軽食堂
- 2階 アメニティコーナー、キャリアセンター、保健センター、教室
- 3階 教室
- 4階 ホール、会議室
- 5階 研究室

### 〔クラブハウス棟〕

- 地上2階建 延床面積 約290㎡
  - 1階 クラブ部室
  - 2階 合宿室
- 着工予定 2009年2月  
竣工予定 2010年2月

## 「創立45周年記念事業(名古屋キャンパス学生アメニティ棟建設)」募金のお願い

### 募金要領

- (1) 目標額 1億円
- (2) 一口の金額

A	10,000円
B	30,000円
C	50,000円
D	100,000円
E	500,000円
F	1,000,000円

### (3) 送金方法

郵便局からお振込みください。

郵便振替 0089019180542

口座名義 学校法人 名古屋学院大学

### (4) 募金期間

2010年3月まで

### (5) 募金額により所得税法の免除の措置が受けられます。

お問い合わせ先 名古屋学院大学財務課募金係  
TEL (052) 6784084

## 募金趣意書

名古屋学院大学は、2009年(平成21年)に創立45周年を迎えます。これもひとえに皆様方のご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。

この間、本学は瀬戸キャンパスにおいて発展を続けてまいりましたが、新たな飛躍を図るため、名古屋市熱田区白鳥地区と日比野地区に名古屋市の協力を得て、2007年4月に名古屋キャンパスを開設することができました。現在、名古屋キャンパスには、経済学部・商学部・外国語学部の他に大学院の二部の学生が学んでおり、瀬戸キャンパスには人間健康学部と運動施設を利用しているスポーツクラブの学生が学んでおります。

名古屋キャンパスは、名古屋学院の伝統を21世紀のグローバル時代に生かすべく設計・建設され、名古屋市都市景観賞を受賞いたしました。一方で、本格的なダブルキャンパスから1年余りを経て、今後の教育・学生生活ニーズへの課題も見えてまいりました。その対応として創立45周年を機に、学生生活の一層の充実と新しい学部増設による大学基盤の充実を見据えて、白鳥学舎に新棟とクラブハウス棟を計画いたしました。

新棟建設に要する資金は、原則として積立金等の自己資金を充当することとしておりますが、特に学生アメニティ施設に関しましては、皆様方にもご賛同いただき創立45周年記念事業として建設させていただきます。そして記念事業として建設するために皆様方からの寄付金を募りたく、ここに「創立45周年記念事業(名古屋キャンパス学生アメニティ棟建設)」の募金をお願いさせていただきます。

本学の教育活動の一層の充実と発展のため、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、ご協力いただきました皆様方のご芳名は、銘板にして建物の一角に末永く保存させていただきます。

# 教育振興資金・名古屋キャンパス学生アメニティ棟建設資金

## 募金の御礼とご報告

ご寄付いただきました方々につきまして、感謝をもってご報告申し上げます。

本年4月以降の募金につきましては、現在計画が進められております名古屋キャンパス学生アメニティ棟建設資金とさせていただきます。今後とも本学へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

募金金額ごとに寄付者ご芳名(順不同・敬称は略させていただきました。)をまとめさせていただきました。

### 教育振興資金(2007年4月1日~2008年3月31日受付分)

21件 4,130,000円

#### 卒業生関係 12件 720,000円

500,000円	内ヶ島敏博								
100,000円	佐藤 正利								
30,000円	野崎 武史								
10,000円	麻生 久	岡本 雅弘	加藤 弘欽	鈴木 勇	高橋 ひかる	高見 周作	竹田 新吾	中島 経年	
	山本 高正								

#### 教職員 1件 30,000円

30,000円 岡澤憲一郎

#### その他 2件 30,000円

20,000円 財団法人大学基準協会  
10,000円 日本基督教団熱田教会

#### 企業 6件 3,350,000円

900,000円	東芝エレベータ株式会社	
750,000円	AIU保険会社	株式会社文教
500,000円	株式会社東芝中部支社	
400,000円	大同工業株式会社	
50,000円	東芝ライテック株式会社	

### 名古屋キャンパス学生アメニティ棟建設資金(2008年4月1日~8月31日受付分)

200件 2,629,000円

#### 父母会関係 200件 2,629,000円

500,000円	内ヶ島敏博								
30,000円	赤木 政久	川上 義雄	永田 和久	中山 善敬					
20,000円	小林 一夫	平岡 司郎	藤川 雄也						
10,000円	青木 弥生	青木 義忠	赤井 義信	浅井 繁之	麻生 久	有我 誠二	池田 時充	石川 由紀	
	伊藤 和幸	伊藤 隆啓	伊藤 司朗	稲岡 利男	今井 正志	上田 浩司	上原 尚子	浦野 朗	
	遠藤 裕子	太田 和弘	太田 好信	大谷 昭治	小川 正幸	奥田 正晴	小野田好伸	春日井 徹	
	加藤 猛	神谷 信夫	川島 光司	川津 良知	神田 正仁	岸 充良	北川 尚秀	北島 正博	
	清岡 健	久志本一明	久保田征行	桑野 治行	越野 幸雄	小谷 範子	小原 重宏	小林 治仁	
	小林 勇二	近藤 一雄	近藤 文雄	酒井 充裕	阪田 実次	坂本 康之	笹原 博輝	佐藤 久良	
	柴田 義隆	杉本 斉	鈴木 喜一	鈴木 眞弓	鈴木 昭二	鈴木 一寛	鈴木 卓彦	角谷 晃二	
	滝 良雄	瀧本 正幸	田口 典義	武田 典久	田中 大禪	谷口 信	塚本 猛	土屋 敦夫	
	永坂 智也	中芝 育史	長瀬 幹讓	永田 義人	永田 寿昭	中西 辰郎	中村 守男	南部 昇司	
	西尾 和恭	西川 正仁	西村 一博	野長瀬幹郎	橋本 銀嗣	花木 毅一	華立 幸宏	東埜 博	
	平井 良和	平野 和広	廣中 隆一	深見 優子	福島 睦	古田 力三	堀江 年男	堀部 範廣	
	間瀬 秀雄	松嶋 宏昌	松村 真	眞野 尚克	美代 兼秀	水野 久夫	三輪 夏世	森 昌司	
	森田 茂	八嶋 義秀	安田 一之	藪下 克巳	藪谷 英巳	山田 浩樹	山田 吉彦	山本 晴彦	
1,000円	吉田 浩一	若森 雅博	渡邊 清隆	渡邊 正晴	渡邊 正				
	田中 優輝								

匿名希望82件

## 文部科学省 G P 採択シンポジウム 実施しました

「現代の若者気質を活かす教育」  
～IT利用、フィールドワーク、  
学生ケアのあり方～

本学の教育プログラムが、3分野で文部科学省より優れた取組(GP)グッドプラクティスとして選定されたのを記念し、7月26日(土)に名古屋キャンパス白鳥学舎にてシンポジウムを開催、161名のみなさまがご来場くださいました。

基調講演ではお茶の水女子大学大学院教授の耳塚寛明氏、独立行政法人労働政策研究・研修機構統括研究員の小杉礼子氏より報告が行われ、その後のトークセッションでは本学担当教員を交えて活発に意見交換がされました。ご参加くださいましたみなさま、ありがとうございました。

## 瀬戸キャンパス祭 開催しました

9月27日(土)に、瀬戸キャンパスに在籍する学生による瀬戸キャンパス祭を開催。人間健康学部の学生らによるパフォーマンス



## 2008年11月～2009年3月 行事予定

### 11月

- 1日(土) 第44回大学祭 [～2日(日)まで]
- 5日(水) TOEFL-ITP [国際交流センター]
- 8日(土) 一般推薦入試(前期) / スポーツ推薦入試(前期) 自己推薦AO入試(1期)
- 9日(日) 一般推薦入試(前期) / 特別指定校推薦入試(前期) 指定校推薦入試
- 12日(水) 学生大会(学生自治会主催)
- 16日(日) 同窓会40周年記念事業(同窓会主催)
- 19日(水) マナー向上キャンペーン(学生課)
- 23日(日) 中国語検定(学術情報センター)
- 26日(水) スピーチコンテスト<英語>

### 12月

- 3日(水) 公開講演会(外国語学部)  
TOEFL-ITP [国際交流センター]
- 6日(土) リーダースキャン [～7日(日)まで]  
[体育会・文化会・社会活動会]
- 9日(火) 秋季献血運動(体育会主催)
- 10日(水) TOEIC [学術情報センター]  
業界セミナー[キャリアセンター]  
マナー向上キャンペーン(学生課)
- 13日(土) 一般推薦入試(後期)  
大学院入試(修士課程I期)  
[国際文化協力専攻]  
大学院入試(博士前期課程II期)  
[英語学専攻(通信教育課程)]
- 14日(日) 大学院入試(博士前期課程II期)  
[英語学専攻(通信教育課程)]
- 16日(火) クリスマスチャペル[キリスト教センター]
- 17日(水) 業界セミナー[キャリアセンター]
- 19日(金) クリスマスチャペル[キリスト教センター]
- 22日(月) 秋学期授業終了 [冬季休暇～1月7日(水)]  
留学生別科秋学期修了式

学生部長表彰(学生課)  
第51回NGUチャペルコンサート  
[キリスト教センター]  
大学クリスマス礼拝[キリスト教センター]

### 2009年1月

- 8日(木) 秋学期授業再開
- 10日(土) 大学院修士論文提出期限
- 13日(火) 卒業論文提出期限
- 15日(木) 秋学期定期試験 [～28日(水)まで]
- 28日(水) 秋学期授業終了
- 30日(金) 一般入試(前期) [～2月1日(日)まで]
- 31日(土) 大学院秋学期授業終了

### 2月

- 2日(月) 自己推薦AO入試(2期) / 特別自己推薦AO入試(前期) スポーツ推薦入試(後期) / 特別入試(外国人留学生・帰国生徒・社会人) 編入学試験(指定校後期・一般後期)
- 6日(金) TOEFL-ITP [国際交流センター]
- 7日(土) 大学院入試(修士課程II期) [経済学専攻]
- 8日(日) 大学院入試(博士前期課程II期) [経営政策専攻]
- 9日(月) 集中講義 [～27日(金)まで]  
会社説明会[キャリアセンター] [～20日(金)まで]
- 10日(火) 一般入試(中期) / センタープラス方式入試
- 11日(祝) 大学院入試(博士後期課程) [経営政策専攻]  
大学院入試(修士課程II期)  
[英語学専攻] [国際文化協力専攻]  
大学院入試(博士前期課程III期)  
[英語学専攻(通信教育課程)]
- 15日(日) 大学院入試(博士後期課程)  
[英語学専攻(通信教育課程)]
- 27日(金) 一般入試(後期A) / 特別指定校推薦入試(後期A) / 特別自己推薦AO入試(後期)

インターシップ[キャリアセンター]  
短期 / 中期留学実施 [～3月]

### 3月

- 1日(日) 大学院入試(博士前期課程IV期)  
[英語学専攻(通信教育課程)]
- 4日(水) TOEFL-ITP [国際交流センター]
- 6日(金) 卒業確定者公示
- 10日(火) 一般入試(後期B) / 特別指定校推薦入試(後期B)
- 16日(月) 学位記授与式・修了式
- 31日(火) 秋学期終了

学長表彰(学生課)

スや模擬店、ステージ企画、フリーマーケットなど、楽しいイベントが繰り広げられました。  
フランスボール体験や、BLS(一次救命処置)講習、バーチャルリアリティ体験や心理実験といった人間健康学部ならではの企画も好評。ステージでは、バンドによる音楽演奏、ダンスなど観客も一体となって楽しみ、大いに盛り上がりました。たくさんのご来場ありがとうございました。

## 全日本大会出場！ 馬術部・日本拳法部・ スキー部・空手道部

本学の馬術部、日本拳法部、スキー部、空手道部が、それぞれ中部学生大会にて優秀な成績をおさめられ、全国大会に出場しました。日々の鍛錬が実った素晴らしい結果です。ますますの活躍を期待しております。

## 本学学生情報誌 「iris(アイリス)」創刊！

学生自身が企画・発信する情報誌「iris」を8月1日(金)に創刊しました。学内より集った編集スタッフが取材、撮影、編集を行い、学内情報や大学周辺の情報を学生ならではの視点でお届けします。スタッフらの熱意が伝わる「iris」。年3回刊行予定です。

※「iris」はギリシャ語で虹を意味し、スタッフ一同は虹のように様々な色に輝く人々たちを応援します。「iris」の「i」はInformationと愛を表します(「iris」創刊号より)】

